

NPO 宮島ネットワーク

令和 6 年（2024） 4 月（令和 5 年度第 9 回） 月例会議事録

日時 令和 6 年 4 月 1 6 日（火） 午後 2 時～ 3 時 5 5 分

場所 宮島商工会館 2F 会議室

出席者 8 名

挨拶 理事長 前回出た JR フェリーの車椅子利用者への対応は、役員に言い、改善を約束された。包ヶ浦海岸へ市が高級ホテルを誘致する件で反対運動を立ち上げた。市が住民の意見を聞くこと無く進めている計画で、スタートから間違っている。旅館業の人手不足に拍車がかかる恐れ。反対運動の趣旨は自然公園を残してほしい、とのこと。

* 初参加者の自己紹介。

1) NPO 紹介展示： 写真展 宮島をまもる ～NPO 宮島ネットワーク活動紹介⑩～の終了

- ・ 期間：3/01(金)～4/08(月)、撤収 4/09(火)
- ・ 内容 サクラ樹の保全活動写真展
- ・ 今年は、撤収日にもまだサクラが咲いていた。

2) エフピコ環境基金事業のまとめ

ア) 助成事業終了と報告について

- ・ 報告書作成の途中、会計は終わっている、領収書整理などを来週に終える予定。

イ) 冊子

- ・ 500 部印刷して、関係者へ配布。廿日市小学校・中学校、3 回以上参加者とスタッフ、廿日市・広島両市長、廿日市市議会、廿日市選出県議、県立図書館、廿日市市民センター、広島市区民図書館など。50 部程度が残り。
- ・ 阿品市民センターで冊子を見た人から清掃希望の連絡が来た。
- ・ 冊子を紹介した新聞記事 中国新聞 2024. 4. 06(土)24 ページ広島都市圏「宮島の海岸清掃/冊子で活動紹介」を会場で閲覧。
- ・ 中国新聞では SDGs 活動について息の長い取材をしたいと言われた。

ウ) 活動報告動画や冊子について

- ・ 評判が良い。今後の HP への掲載や利用について、エフピコへ問い合わせる。

エ) 次年度の助成申請など

- ・ 10 月～9 月までの年度で申請したかったが、エフピコ環境基金は 4 月始まりの助成しか無い。アサリ浜作業が潮の具合に合わせて 3 月～4 月に作業するので、3 月末で会計を切るのは難しい。
- ・ 助成が無くても清掃をしなければならない海岸がある。室浜は、他の団体の清掃を認めていない。

- ・6月に前年度の半金があるのでそれが使える。

オ) 助成の対象

- ・清掃には助成が出るが、カキ養殖用プラスチックの削減など、ゴミの発生元を削減する活動はどうか。毎年作られる産業ゴミは、清掃で間に合うレベルを越えている。
- ・竹のカキ養殖用パイプなどはどうか？→原料の確保と制作の手間、強度、制作費などが合わないのでは？
- ・水田に入れる農業肥料の核にマイクロプラスチックが入っている。それが水田に撒かれ、マイクロプラスチックは川から海に流れていく。マイクロプラスチックが入っていない肥料は2～3割高い。副業で赤字の米作で高い肥料を使う人はいない。→マイクロプラスチックが入らない肥料を使う人へ助成ができれば変わるはずだが。国レベルの政策の次元。

3) 車椅子ルートマップの作成について

ア) 貸し車椅子利用者アンケートの回収状況

- ・宮島口：3/30-3枚、4/09-12枚、4/16-11枚、計26枚
他車椅子に入らなくてキャンセルした外国人1人
- ・宮島：4/02-8枚、4/16-7枚、計15枚
- ・車椅子は宮島口5台、宮島15台だが、アンケートの渡し方に差がある。

イ) 回収した28枚の入力結果から

- ・車椅子では行けないところに行った人がいる。豊国神社（千畳閣）、五重塔、ロープウェーなど。
- ・ロープウェー利用では「乗換時の階段」「車椅子を送迎バスに乗せるのが難しかった」と具体的に書いてあり、実際に行ったことが分かる。
- ・「グレーチングの目が粗い」との指摘があった。どこのことか？
回答者が行ったところ：神社、大聖院、商店街、豊国神社、清盛神社、紅葉谷公園
- ・ここまで来て貸し車椅子を利用するのは、歩くのが遅くなった家族がいて、移動時間を節約するために借りていると想像できる。普段は車椅子を利用していない慣れない人の利用を想定する必要があるよう。

ウ) メンバーの貸し車椅子調査

- ・3/30(土)奥さんが乗車、Aさんが押し。
- ・JRフェリーに車椅子1人で乗ろうとしたが、段差を乗り越えられなかった。職員は見ているだけだった。
- ・JRフェリーのバリアフリールーム（トイレ）のドアが引き戸だが、車椅子に乗っているとドアへ手が届かない。松大のドアは自動ドアになっている。
- ・宮島栈橋を出て右端にあるスロープが、人が多いと見えない。
- ・開かずの門の右側を車椅子で通ろうとすると肘がぶつかる。
- ・おもてなしトイレ入り口のスロープに駐車禁止の看板があつて邪魔。他の場所からでは段差があつて通りにくい。
- ・etto 宮島の3階展望台からは、車椅子に座っていると庇が邪魔で五重塔全部が見えない。
- ・大聖院下の公衆トイレはアプローチ坂がきつくて介助が必要だが、さらにドア

前の段差がひどくて1人では入れない。トイレは車椅子対応だが。

- ・大元公園の海側には車除け柱が邪魔になって車椅子が通らない。山側も公衆トイレのところ以外からは入れない。
- ・大元公園海岸（御手洗川横）の園路には、舗装が剥がれて車椅子の車輪が落ち込むところがある。
- ・車椅子で商店街を通ろうとすると、人が多くて乗っている人は回りが全く見えず危険を感じる。
- ・欧米の人は、車椅子が通ろうとすると道を空けてくれるが、日本人は知らん顔。
- ・当日午後、開かずの門が半分開いていた。

エ) 店舗・ホテル等への車椅子利用者への対応調査

- ・アンケート 13 枚を回収。宿泊者以外に対応するところは少ない。

オ) 車椅子用マップ内容の検討

- ・次回に、マップ部分の修正案を出す。
- ・利用者アンケートは5月末まで実施するので、次の例会では中間集計を出す。

4) さくらもみじの会の活動について

ア) 会の運営・存続について

- ・あさって4/18(木)に総会を開催。5月から活動を開始する。
- ・15年目になり、後継者が見つからなければ年度終りで解散する。
- ・高齢化で動ける会員が減って来た。
- ・藤の棚：会が肥料散布や手入れで掘れるのは20cm、電線や水道は深さ60cmのところ配管があるが、外灯の配線は地下15cmほどのところにある。手入れで掘るところスレスレに外灯の線があるところがかかなりある。樹木は年々大きくなって根と配線がからまることが予想される。地面を掘っていて配線を切ってしまうと大変なことになる。

イ) サクラ樹の世話について

- ・全国のサクラ名所の映像でも、手入れがされているサクラとされていないサクラが分かる。手入れをしないと確実に樹勢が悪くなるので、会の継承者を探したい。
- ・植えるサクラの苗木は、宮島のサクラから育った苗に限られる。去年のヤマザクラを接ぎ木と挿し木して、挿し木が育っている。が、夏の暑さで枯れることがある。
- ・宮島の事情と知見を次の組織に継続しなければならない。

ウ) モミジ樹の世話

- ・世話をしている紅葉谷公園のモミジ樹は、根元を踏まれることで弱る。モミジの根元を小石で丸く囲っておけば、踏まれるのが減るのではないか？ その中に腐葉土や肥料を施肥すれば効果があるのでは。→検討する。
- ・腐葉土も宮島で作らないといけない。

5) アサリ浜とアマモ場など

ア) アサリ浜の保全作業について

- ・アオサの除去を2月から4回行った。宮島のアオサは大野浦より育ちが良い。大野浦はかなりアオサが消えてきたが宮島にはまだある。
- ・5月～10月はエイがアサリを食べる。1年目のアサリは小さいのでエイが飲み込んでも砂と一緒に吐き出してしまうので、生き残る。それ以上のサイズはエイに食べられる。

イ) アサリ浜の沖にあるアマモ場

- ・アサリ浜の沖にあるアマモ場をチヌが穴を掘ってアマモがまだらになっている。
- ・アマモの苗づくり：ワラ縄にアマモの種を埋め込んで、塩分濃度を半分以下にした水槽に置いておくと発芽する。ワラ縄はあまり太くないものが良い。

6) 今年のアサリ浜の清掃&貝掘り

- ・助成がなくても適期に実施。募集人員は増やす。
- ・6/08(土) 13時～大元公園で受付、詳細は次回につめる。
- ・HPでの募集は2週間前から。アサリ掘りは人気があり、すぐ定員に達する。

7) 包ヶ浦海岸へ市が高級ホテルを誘致する件で反対運動

- ・「宮島包ヶ浦自然公園を守る会」が市議会議長宛に「廿日市市が計画する、宮島包ヶ浦自然公園を活用した「高付加価値旅行者に対応した宿泊施設」誘致に反対する請願」を始めている。用紙を配布。
- ・4/04(木) と 4/05(金)に住民説明会で、Bさんが包ヶ浦に生息する絶滅危惧種の生物について紹介し、自然公園として貴重であることを説明した。
- ・署名用紙を新聞折り込みにできなかった。
- ・署名締め切り：4月30日